

(一財)長崎県剣道連盟

広報誌 第22号

剣道だより (KENDO Nagasaki)



啓蟄の蟻が早引く地虫かな・・・高浜虚子・・・啓蟄(けいちつ)>

高浜虚子は季節の俳句で「啓蟄の蟻が早引く地虫かな」と詠んでいます。地虫とはコガネムシやカブトムシの幼虫を表し、蟻が春の訪れを感じ地上に出てきて久々の地上に嬉しさを感じていましたが、地虫たちも出てきて蟻は驚き、身の危険を感じ慌てて逃げる様子がかぶという意味です。啓蟄は「春の陽気を感じ、地中で冬ごもりしていた虫が動き出し、はい出してくる季節」と言われています。啓蟄の時期は 2022 年は節気において三番目に訪れる節気です。

今年は3月5日(土)頃に訪れ、その期間は啓蟄の日から次の節気である春分の日の前日までとなります。南の地域では春が訪れ、北国は春を待ち焦がれている。現代日本での啓蟄は、そんな時期のように感じます。すみれやレンゲ草が咲き始め、春らしさが増してくる時期でもあります。

新型コロナウイルス感染症が爆発的に猛威を奮って日常生活を脅かしています。剣道の稽古始め、講習会や大会なども中止となり、行動を制約された時間を過ごしています。3回目のワクチンの接種も始まり、徐々に日常化に向けて暗闇の中に明るい陽射しが射しつづつあります。このような時期こそ剣道の基礎基本を大事にして、体幹などの身体づくりや本来の剣道の楽しみ方で過ごすのも良いのかもしれないね。



写真：ミツマタの花 花言葉「強靱」

報告(1)・・・第70回 全日本都道府県対抗剣道優勝大会県予選

および第14回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会県予選

令和4年2月6日(日)県立西陵高等学校において標記予選会が開催されました。本大会は令和4年4月29日(祝/金)エディオンアリーナ大阪(男子)と令和4年7月10日(日)日本武道館(調整中:東京都千代田区)(女子)で開催されます。選手の皆さんの実力が発揮され最高の試合ができますよう祈念申し上げます。



丸田麟太郎(平戸市)・宮崎東平(学剣連)・大久保寛(県警)
安永 誠(佐世保市)・浦田昌典(県警)



黒川雄大(筑波大)



山口 拓(南山高校)



大園望夏(県警)・北浦菜海子(諫早市)・野崎優花(学剣連)
田上幹子(学剣連)・野上麻佐代(長崎市)



吉本瑚々筑波大



永井 萌(島原高校)

| | 選手 | 所属 | 補欠 | | 所属 |
|-----------|-------|------|------|--|-----|
| | 氏名 | | 氏名 | | |
| 先鋒(高校生) | 山口 拓 | 南山高校 | | | |
| 次鋒(大学生) | 黒川雄大 | 筑波大 | | | |
| 五将(35歳未満) | 丸田麟太郎 | 平戸市 | 北翔太朗 | | 大村市 |
| 中堅(教職員) | 宮崎東平 | 学剣連 | 中島孝彰 | | 学剣連 |
| 三将(警察官) | 大久保寛 | 県警 | 川本和裕 | | 県警 |
| 副将(35歳以上) | 安永 誠 | 佐世保市 | — | | — |
| 大将(50歳以上) | 浦田昌典 | 県警 | 荒木雅義 | | 学剣連 |

| | | | | | |
|-----------|-------|------|-------|--|-----|
| 先鋒(高校生) | 永井 萌 | 島原高校 | | | |
| 次鋒(大学生) | 岩本瑚々 | 筑波大 | | | |
| 五将(18歳以上) | 大園望夏 | 県警 | 松尾百華 | | 長崎市 |
| 中堅(30歳以上) | 北浦菜海子 | 諫早市 | 児玉亭子 | | 諫早市 |
| 三将(30歳以上) | 野崎優花 | 学剣連 | 中村久美子 | | 学剣連 |
| | | | 小崎さくら | | |
| 副将(40歳以上) | 田上幹子 | 学剣連 | | | 学剣連 |
| 大将(50歳以上) | 野上麻佐代 | 長崎市 | 島田恭子 | | 学剣連 |

審査会等 案内・・・2022年4月29日～5月15日 京都府・愛知県における審査会

| | | | |
|----|-----------------------|---------|-----------------|
| 1) | 京都審査会 剣道 (六段・七段・八段) | | |
| | 令和4年4月29日 (金・祝) | 剣道六段審査 | 京都市体育館 |
| | 令和4年4月30日 (土) | 剣道七段審査 | 京都市体育館 |
| | 令和4年5月1日 (日)・2日 (月) | 剣道八段審査 | 京都市体育館 |
| 2) | 京都審査会 居合道 (八段審査・範士審査) | | |
| | 令和4年5月3日 (火・祝) | 居合道八段審査 | 京都市体育館 |
| 3) | 京都審査会 杖道 (八段審査・範士審査) | | |
| | 令和4年5月3日 (火・祝) | 杖道八段審査 | 京都市体育館 |
| 4) | 京都審査会 範士 (剣道) | | |
| | 令和4年5月6日 (金) | 範士審査 | 京都市武道センター |
| 5) | 愛知審査会 剣道 (六段・七段) | | |
| | 令和4年5月14日 (土) | 剣道七段審査 | 名古屋市枇杷島スポーツセンター |
| | 令和4年5月15日 (日) | 剣道六段審査 | 名古屋市枇杷島スポーツセンター |

報告(2)・・・令和3年度 中央受審者講習会

令和4年2月23日(水/祝)長崎県立総合体育館において標記講習会が開催されました。講習会は新型コロナウイルス感染防止対策ガイドラインに沿って実施されました。模擬審査は六段、錬士・七段、教士・八段に大きく3つに分かれ、4人1組で午前午後中央審査本番と同様に「立合い」が行われ、受審者全員が真剣な眼差しで取り組みました。班毎に講師の先生方より指導とアドバイスがあり、受講者にとって有意義な講習会でした。

<受講者>

八段・教士受審者 49名 七段・錬士受審者 40名 六段受審者 30名 (計119名)

| | |
|-------------------------------------|---|
| 1)八段・教士受審者 受付 9:30-9:45 実技 10:00- |  |
| 2)七段・錬士受審者 受付 11:00-11:15 実技 11:30- | |
| 3)六段受審者 受付 12:30-12:45 実技 13:00- | |



模擬審査風景 ①



模擬審査風景 ②



模擬審査風景 ③



模擬審査風景 ④



班ごとに終了後に講師より指導助言①



班ごとに終了後に講師より指導助言②

紹介(1)・「傷つけず 人を懲らして 戒しむる」(杖道)



—— 杖道をはじめてみませんか？ ——

杖道はどのような武道ですか？

杖道は、長さ4尺2寸1分(約128センチ)、直径8分(約2.4センチ)の白樫の丸い杖を用います。武器としては何の変哲も無い只の杖に過ぎませんが「突かば槍 払えば薙刀 持たば太刀 杖はかくにも 外れざりけり」という古歌があり、槍、薙刀、太刀の要素を兼ね備えた千変万化する多種多様な技を持った武道です。その理念は殺傷を目的とはせず「**傷つけず 人を懲らして 戒しむる**」と平和的であり、現代に相応しい武道といえます。杖道は形武道ですので、防具は一切使用せず、老若男女、身長、体重の区別無く一緒に稽古できるのも大きな特長です。

杖道をはじめるためには何を準備すれば良いですか？

武具は杖、木刀、稽古着は剣道着、袴、帯が必要です。購入に際しては、入会・入門先の指導者や先輩方に相談することをお勧めします。

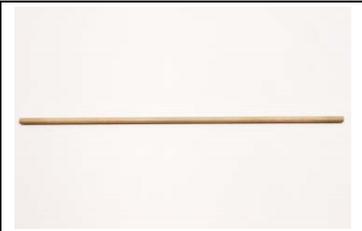
武具：杖、木刀(革鍔付)

杖、木刀ともに材質は白樫です。木刀の鍔は、革鍔を選んで下さい。プラスチック製の鍔は安価ですが割れることがあり、危険を避けるため使用は禁止されています。

- 1) 杖 長さ：4尺2寸1分(128cm) 直径：8分(2.4cm)
- 2) 木刀 長さ(全長)：3尺3寸5分(101.5cm)・柄の長さ：8寸(24.2cm)・鍔：革製

稽古着：剣道着、袴、帯

- 1) 稽古着：上は剣道着(紺、白、黒)、下は袴を着用(紺、白、黒)・帯

| | | | |
|---|--|---|--|
|  |  |  |  |
| 杖 | 木刀(革鍔付) | 剣道着 | 袴 |

杖道の試合はどのような試合ですか？

杖道の試合は、二組が同時に指定された技を演武し、3名の審判により判定を下します。

杖道の形は太刀を持った相手に対して杖の技を繰り出す組形になっており、太刀を持つ方を「**打太刀**」あるいは単に「**打**」と言い、杖を持つ方を「**仕杖**」あるいは単に「**仕**」といいます。試合には数通りの方法がありますが、一般的には、二組が同時に指定された技を演武し、「仕」「打」両方の技の優劣を判定する方法と、「仕」のみの技の優劣を判定する方法があります。剣道、柔道、空手道のように、一本を取り、競い合う試合ではありません。判定は主審1名、副審2名の3名により、技の優劣の判定を下します。審判方法については、全日本剣道連盟の「杖道試合・審判規則」によります。

| | | | |
|--|---|--|---|
|  |  |  |  |
| 杖道講習会 | 杖道講習会 | 杖道段位審査会 | 杖道演武(橋本幸一部長) |

杖道を習っている人にはどんな人がいますか？

杖道を習っている人には、年齢や性別、体格、武道経験の有無にかかわらず、幅広い層の方がいます。

多くの稽古場では、年齢や性別に関係なく受け入れています。武道経験のない方も大勢います。世代も、10代・20代の学生から、30代・40代の働き盛りの方、50代・60代のシニアの方と、幅広い層の方が稽古をしています。

稽古場により雰囲気はさまざまですので、どんな人がいるか、雰囲気はどうかなのか、御自身で訪ねて確かめてみることをお勧めします。まず、自分が通いやすい稽古場・道場を探し、見学や体験入門を申し込んで、実際に御自身で訪ねてみてください。

問い合わせ：連絡先(一財)長崎県剣道連盟 杖道部長：橋本 幸一 携帯電話：090-9489-1645 メール ni.hasimoto@gmail.com

紹介(2)・「居合とは 人に斬られず人斬らず 己を責めて 平らかなの道」(居合道)

—— 居合道をはじめませんか? ——

居合道はどのような武道ですか?

居合道は、真剣または居合刀(模擬刀)で仮想の敵に対して、いかに早く抜刀し、納刀するかが極意のように思われがちですが、本来は刀を抜かずして敵を従わせることで、すなわち「勝負は鞘の内にあり」と言われています。その精神は現代に至っても受け継がれています。そのことが「礼に始まり礼に終わる」しかも優雅にしてより格調高い理由なのです。相手との戦いを目的とせず「居合とは 人に斬られず人斬らず 己を責めて 平らかなの道」と現代にふさわしい武道といえます。居合道は形武道ですので、杖道と同様に防具は一切使用せず、老若男女、身長、体重の区別無く一緒に稽古できるのも大きな特長です。また、「剣居一体」と言われるように剣道と表裏一体の関係にあります。



居合道をはじめるとするには何を準備すれば良いですか?

武具は**真剣(日本刀)**、**居合刀(模擬刀)**、稽古着は**剣道着**、**袴**、**帯**が必要です。購入に際しては、入会・入門先の指導者や先輩方に相談することをお勧めします。

武具：刀

刀は**真剣(日本刀)**四段から五段で**真剣**を購入するのが平均的な例ですが高価な買い物になります。全日本剣道連盟の場合は六段以上の審査は**真剣**で受審。

- 1) **真剣(日本刀)**、**初心者(模擬刀)** 3万円～5万円の**居合刀**、長さ：例 2尺4寸3分(78cm)、刀袋

稽古着：剣道着、袴、帯

- 1) 稽古着：上下同じ色を着用する。剣道着(紺、白、黒)、下は袴を着用(紺、白、黒)・帯

| | | | |
|--|--|---|---|
|  |  |  |  |
| 剣道着 | 袴 | 日本刀(真剣または模擬刀) | 鍔(鉄鋼製) |

居合道の試合はどのような試合ですか?

居合道には流派が多いため、従来は各人が演武を披露するだけでしたが、昭和41年の第1回全日本居合道大会では勝敗を判定し、優勝者を決めました。これを契機に昭和44年「全日本剣道連盟居合」7本が制定され、平成12年には12本になっています。居合道の試合は、2名の出場者が、真剣または模擬刀を用い、あらかじめ定められた全日本剣道連盟居合と各流派の形、合わせて5本を6分以内に演武し、その「修業の深さ」、「礼儀」、「技の正確さ」、「心構え」などを3名の審判員が判定して勝敗を決します。審判方法については、全日本剣道連盟の「居合道道試合・審判規則」によります。

| | | | |
|---|---|--|---|
|  |  |  |  |
| 全日本居合道大会3位 畑中健佑 | 大阪居合道大会優勝 中村政樹 | 居合道県大会 段外の部(小学生) | 模範演武(高木志伸部長) |

居合道を習っている人にはどんな人がいますか?

居合道を習っている人には、年齢や性別、体格、武道経験の有無にかかわらず、幅広い層の方がいます。

多くの稽古場では、年齢や性別に関係なく受け入れています。武道経験のない方も大勢います。世代も、小学生10代・20代の学生から、30代・40代の働き盛りの方、50代・60代のシニアの方と、幅広い層の方が稽古をしています。

稽古場により雰囲気はさまざまですので、どんな人がいるか、雰囲気はどうかなのか、御自身で訪ねて確かめてみることをお勧めします。まず、自分が通いやすい稽古場・道場を探し、見学や体験入門を申し込んで、実際に御自身で訪ねてみてください。

問い合わせ：連絡先(一財)長崎県剣道連盟 HP「道場案内」または 居合道部長：高木志伸 メール shido120tanagata@gmail.com

読み物(1)・・・剣豪「昭和の剣聖:中倉清」(なかくら きよし) (現代剣道百家叢より)

1910年(明治43年)～2000年(平成12年) 段位は剣道範士九段、居合道範士九段(全日本剣道連盟)。流派は神道無念流剣術、夢想神伝流居合。

剣道修行の心構え

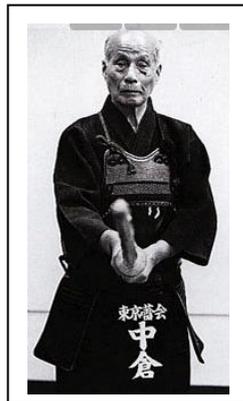
人間性と人格形成を養う

「極意に一步でも近づく修業は、あらゆることから始めなければ。『極めるは眼の力』剣道を学ぼうとする者は、技を修めながら、人間性と人格形成をはかるを第一義と心得るべきであろう。

剣道は打たれて修行せよという程に厳しいものである。従って真の修行者は、あらゆる苦難を求めて止まない強い信念と不動の心を基としたところの男性的態度を常に示したいものである。次々の苦難を突破してこそ、技も自然に身についてくるし、本当の剣道の興味と面白味がわかってこよう。又、少々の風邪気味でも稽古をすれば癒るぐらいいといわれるが、これは強い精神力の現れである。しかしながら剣道は筈が伸びるように単的には成長、上達するものではない。

剣道は技が進み、強くなっても自惚れてはならない

ここが一番大事なところであって、決して失望、悲観してはいけない。このようなピンチ、厚い壁をきりぬけてこそ、技の大きな進歩が望まれ、真の剣道の心が育成されると確信するものである。更に剣道は技が進み、強くなっても自惚れてはならない。剣道の真髄に多少でも近づこうとするならば、自分には厳しく、人には謙虚であってこそ剣道の真姿が求められ且つ尊敬される所以でもある。



剣道はひたすら修行一筋に生きぬいた努力、精進の持ち主でなければならない

次に酒色も修行の大敵であることを忘れてはならない。酒色の慾は人間本能とはいえ、本能のはしるままその慾を逞しくすれば、いつかは心身を害ね、ひいては修行の妨げとなるばかりか大事な一生を台なしにする結果となる。人間は酒色の二慾を慎めば、剣道の上達は勿論、高潔な人格が陶冶されていくものである。しかしながら言行一致は中々至難なことであり、一芸一能に秀でてた歴史的人物をみると、いかにこれらの煩惱を断ちきるために、修行三昧に苦心したかがうかがわれる。昔の英雄、豪傑は、又剣道の達人と称する者は、酒色を好み求めたかのような俗説を耳にするが、おそらく大成はしなかったであろう。後世に名を残し、実を残した人は人間の貪慾にうちかち、ひたすら修行一筋に生きぬいた努力、精進の持ち主である。

剣道は不撓不屈の意気ごみで、体を惜しまずに、技を充分出しきった稽古でなければならない

次に、人の稽古、試合を充分に観察する習慣を養うことが大切である。特に不成功の技の中に理合が隠されていることを見逃してはならない。一例をあげてみよう。警察学校の初任科生の剣道形の授業時のことであった。太刀一本目の打太刀が基本の面打ちの要領で、剣先を仕太刀の顔面で止めたので、仕太刀はふみこめず、そのまま停止状態となったのである。形としては不成功だが、剣先を中心から離してはならぬ原理を、その瞬間において今更ながら悟った次第である。

最後に、修行の段階において、若い時は不撓不屈の意気ごみで、体を惜しまずに、技を充分出しきった稽古することが第一であるが、更に進めば、技の発する前、所謂、心の働き、心の修行はどうあるべきかを考えなくてはならない。剣道の修業に終りが無いとは、心の修行の無限をさしたものである。

道場からの便り「道場紹介」(10)・・・真崎少年剣道会(諫早市)

道場紹介(真崎少年剣道会)

1. 創立

1982(昭和58年)10月、諫早市立真崎小学校校区の保護者からの希望により、故高藤良夫先生(初代会長、平成12年没)と山内清隆先生(現2代目会長)によって創立。

2. 印象に残るエピソード

- 1) 創立6年目(平成元年)にして小学生団体の部県大会で優勝、10年目には全国大会でベスト32(野崎、林田、池田、赤尾、坂口)の戦績を記録。
- 2) 全国大会個人で活躍した野崎優花、林田直樹、林田浩志、一安政紀、吉田将志、白丸邦昭、北浦裕介、三浦敦史、小森敏也、横尾由布子、松崎賢士郎、山口大河、永井萌などがいる。全日本剣道選手権出場者は野崎、林田直、林田浩、北浦、松崎の5名、
- 3) **第68回全日本剣道選手権大会(令和3年3月)で松崎賢士郎が見事優勝を成し遂げました。**

3. 指導方針、道場訓ほか

1) 指導方針

①礼儀(道場内外を問わず)を重んじ、正しい着装。 ②基本動作は忠実に、 ③集中力の維持と素早く出せる技の研鑽

2) 道場訓

①礼儀正しい人になろう、 ②どんなことにも耐え忍ぶ人になろう、 ③勉強する人になろう

3) 少年剣道の唄

(^^) 雨の降る日も風の日も 竹刀担いで道場通い、コテメンドー 気合鋭くこだまして、行くぞ我ら、少年剣士

4. 道場の特色

山内会長を主軸として、多数の先生方が指導にあたり、切り返しとかかり稽古に多くの時間をかけます。さらに初心者、小学低学年、小学高学年、中学生とグループあるいは個別指導が行われています。年に一度会員勧誘のための体験会も開催しています。

5. 指導者、保護者会等(令和3年度)

- (1) 指導者 山内清隆(会長)野崎富士雪、清浦邦彦、松下太郎、山口毅、西山純、進藤健太、勝矢裕信
- (2) 補助指導者 松崎豊隆、野口寿史、田島光浩、西山慶、吉田将史、北浦裕介、三根佳恵、北浦菜海子、野崎優花、西山樹、馬場太志
- (3) 保護者会 会長：木津美穂子、事務局：田島洋子
- (4) 連絡先

山内清隆：諫早市白岩町6-2 090-9592-8121

6. 稽古日時、場所

| | | | |
|--------------|---------|--------|-----------|
| 初心者から中学生 | 月・金・土曜日 | 18~20時 | 真崎小学校体育館: |
| 小学高学年・中学生・一般 | 火・木曜日 | 18~21時 | 西諫早ふれあい会館 |

7. 会員数(令和3年4月現在)、未就学生:3名(うち女子1名)、小学生:24名(うち女子12名)、中学生 :17名(うち女子8名)

| | | |
|--|--|---|
|  <p>真崎少年剣道会 創立35周年記念祝賀会</p> |  |  |
|  |  |  |
| <p>体験会で素振りをする子ども達</p> | <p>コロナに負けない親子大会</p> | <p>OB松崎賢士郎さんを囲んで集合写真</p> |

道場からの便り「道場紹介」(11)・・・小浜少年剣道部(雲仙市)

小浜剣道協会は、昭和26年12月16日に発足し、昭和27年1月に少年剣道部が結成されました。初代会長草野三郎先生、二代目会長草野壬二郎先生、三代目会長本多輝志先生、四代目会長片淵司久男先生、五代目会長佐藤信秀先生と続き、発足当時の先生方の剣道に対する情熱は今もなお受け継がれ、今日に至っております。

昭和44年10月には第24回国民体育大会剣道競技が小浜町体育館で開催され、小浜町から6名の選手が出場し、総合優勝に貢献いたしました。この国民体育大会の開催を記念して、昭和47年から雲仙市小浜町体育館で全九州少年剣道練成大会を開催いたしました。九州各県、長崎県内から多数のご参加を頂き、平成24年の第40回大会まで開催することができました。また、平成24年には小浜剣道協会設立60周年記念式典を盛大に開催することができました。

現在は30名の協会員で稽古、少年指導等の活動を行っております。少年部は、昭和57年第23回全国選抜少年練成大会(水戸大会)で優勝、九州・県内各地の大会において優勝・上位入賞を果たすことができました。その当時は、最も多い時には小・中学生合わせて80名くらいが在籍しておりました。しかし、少子化及び剣道離れの影響を受け、現在は部員13名と少なくなっていますが、剣道の伝統文化継承者となるよう、大事に育てております。

その中で特に大切にしていることは、勝利第一主義という考えではなく、個々の長所と特性を見出し、剣道の理念、剣道の修練の心構えを基に友愛の精神を育み、基本を重視しながら、技術の向上を図り、文武両道のもと人格形成を目的として生涯剣道を目指しています。指導は、小浜剣道協会会員の先生方がボランティアで師弟同行のもと、共に精進して参りたいと存じます。他の道場からの出稽古は歓迎しておりますので、どしどし稽古においでください。

1) 指導者

佐藤信秀(剣道範士八段)

津田 隆(剣道教士七段)、松尾純伯(剣道教士七段)外協会会員一同

2) 稽古日時・場所 小浜町武道館

月・火・木・金 17:30~19:00、土 9:00~11:00

3) お問合せ

小浜少年剣道部 保護者会会長 林田美紀(090-9576-8476)



小浜町武道館で集合写真



基本を大切に稽古を指導



佐藤信秀範士にかかる子ども達



熱心な指導を受ける子ども達



コロナに負けない小浜っ子



「鬼滅の刃」竈門炭治郎

道場からの便り「道場紹介」(12)・・・黒髪少年剣道育成会 (佐世保市)

1. はじめに

代表指導者：川上靖之

黒髪少年剣道育成会は、佐世保市黒髪町の小学生、中学生を対象に昭和43年に設立され、師範の本山兵吾先生をはじめ沢山の指導者のお力添えで、長きにわたり子供達の育成に取り組まれています。

2. 当時の稽古

当時は、会員が100名を超える時もあり、日々の稽古に子供達は一生懸命取り組んでいました。指導者の中には兄弟の影響で剣道を始める会員も多かったです。最初の1年間は防具を付けず足捌きの稽古で、徹底的に基礎基本を指導されました。今思えば、それが現在の剣道指導に役に立っていると感謝しています。防具を付けてからの稽古では、**「小手先の剣道ではなく、面打ちは牛の首を斬るように、大きく、小手打ちは、鼠の首を斬るように手首を効かせて小さく」**と子供達に分かりやすく基本に忠実な指導を受けていたのを記憶しています。

稽古の最初と最後の礼式時には、本山先生のお話が非常に長く、正座をしている子供達は毎回足が痺れてモゴモゴとしながら聞いていましたが、剣道のお話内容は技術的な内容はほとんどなく、**「人間形成」**の為のお話が主でした。**「人としてどうあるべきか」**を子ども達に語られていました。

3. 現在の稽古と試合結果

現在は20名程度の会員ではありますが、黒髪で育ったOB、OGをはじめ、沢山の先生方にお力添えを頂き、週4回の稽古に子供達は日々精進しています。昔と違い、試合数も多く、年間の大会出場数は20回以上、錬成会も10回以上経験しています。コロナ禍の前までは、佐賀、福岡、鹿児島など沢山の剣士と交流をしていました。

令和3年度は稽古や大会や試合数も少ない中でしたが、全国道場連盟剣道大会長崎県予選で小学生団体(3人制)が優勝、中学生女子個人の部でも優勝する事ができ、令和4年1月に大阪で開催された全国大会へ出場しました。

また、黒髪から育ったOB・OGも高校で実績を残し、令和4年3月に全国高校選抜剣道大会に男女出場する予定です。今後も、指導者、OB・OG、会員、保護者が一体になって少ない人数ではありますが、剣道の灯りを消さないよう精進して参ります。

4. 道場訓「交剣知愛」

「剣は心なり 心正しからざれば 剣また正しからず 剣を学ばんと欲する者は まず心を学ぶべし」

※子供達が理解しやすい様に、島田虎之助先生の御言葉をアレンジしています。

5. 活動場所と時間ほか

| | |
|------|---|
| 対象 | 幼年・小学生・中学生・高校生 |
| 稽古日時 | 黒髪小学校体育館：月、水、金(19:00～21:00)日(18:00～20:00) |
| 指導者 | 主任指導者：川上靖之 OB(教士七段) 補助指導者：戸田雅史(錬士七段)、黒崎靖彦 OB(錬士六段)、西村晃輔 OB(五段)、益田慎一郎(三段) |
| 連絡先 | 問合せ：川上靖之 ☎ 090-2583-9397 ✉ kurosyouden@yahoo.co.jp |

6. SNS ブログ [https://ameblo.jp/kurosyouden/Face book](https://ameblo.jp/kurosyouden/Face%20book) <https://www.facebook.com/kurosyouden/>
TikTok <https://www.tiktok.com/@kuroshoken> 動画 <https://www.youtube.com/watch?v=iFR2y0HXCD>

| | | |
|---|--|---|
|  |  |  |
| 長崎県下女子剣道大会優勝 | 黒髪少年剣道育成会剣道大会 | 女子優勝 西海学園 大将 益田佳奈(OG) |
|  |  |  |
| R03 優勝 全国道場連盟県大会 | 初心者 基本指導 | 男子優勝 長崎南山 副将 戸田優人(OB) |